

2 事業の経過および成果

1. 連結業績の概況（国際会計基準）

(1) 売上収益、利益の状況

売上収益は、抗がん剤「レンビマ」をはじめとするグローバルブランドが引き続き伸長したことに加え、抗体薬物複合体「MORAb-202」に関するブリストル マイヤーズ スクイブ（米国、以下 BMS社）との戦略的提携による契約一時金496億円の受領およびMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA（以下、米メルク社）からの販売マイルストーンペイメントの増加（当期692億円、前期207億円）などにより、大幅な増収となりました。

主なグローバルブランドの売上収益は、「レンビマ」が1,923億円（前期比143.6%）、抗がん剤「ハラヴェン」が394億円（同104.8%）、抗てんかん剤「フィコンパ」（英名「Fycompa」）が319億円（同119.2%）、不眠症治療剤「デエビゴ」（英名「Dayvigo」）が164億円（前期は31億円）となりました。

売上原価は、AD治療剤「アデュヘルム」（一般名：アデュカナマブ）について、事業環境等の変化を踏まえた需要予測の見直しに伴い販売権の減損損失を計上したことなどにより増加しましたが、ライセンス供与による収益の増加や製品ミックスの改善により、売上原価率は低下しました。

販売費及び一般管理費は、「レンビマ」の売上拡大に伴う米メルク社への折半利益の支払い増加や、「アデュヘルム」の上市関連費用が増加したことに加え需要予測の見直しに伴う費用を計上したことにより、大幅に増加しました。

研究開発費は、米メルク社から受領した「レンビマ」の開発マイルストーンペイメントを戻入として計上するなど、パートナーシップモデルの活用による費用抑制を進めた一方で、当社の子会社であるEAファーマ株式会社における開発パイプラインの見直しや、バイオジェン社と共同開発を行っている抗アミロイドβプロトフィブリル抗体レカネマブ（一般名、開発品コード「BAN2401」）に加えて、米メルク社の抗PD-1抗体ペムブロリズマブ（一般名）との併用療法を開発中の「レンビマ」などへの積極的な資源投入により、大幅に増加しました。

その他の収益は、抗てんかん剤「ゾネグラン」の欧州、中東、ロシア、オーストラリアにおける権利の譲渡により、大幅に増加しました。

以上の結果、営業利益ならびに当期利益は増益となりました。

連結損益の概要

（単位：億円）

	2020年度*	2021年度	前期比(%)	増減額
売上収益	6,459	7,562	117.1	1,103
売上原価	1,613	1,748	108.4	135
販売費及び一般管理費	2,816	3,664	130.1	848
研究開発費	1,503	1,717	114.2	214
営業利益	515	537	104.3	22
税引前当期利益	523	545	104.1	22
当期利益	423	457	108.1	34
親会社の所有者に帰属する当期利益	419	480	114.3	60

*会計方針の変更に伴い2020年度の数値を遡及修正しています。以降の表についても同様に修正しています。

 当社ウェブサイト「最新決算発表資料」をご参照ください。
▶ <https://www.eisai.co.jp/ir/library/index.html>

連結経営指標

		2020年度	2021年度	前期比(%)
親会社所有者帰属持分当り率 (DOE) (%)	(%)	6.6	6.3	95.1
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE) (%)	(%)	6.1	6.6	108.8
配当性向 (DPR)	(%)	109.3	95.7	87.5
1株当たり配当金 (DPS)	(円)	160.0	160.0	100.0
基本的1株当たり当期利益 (EPS)*	(円)	146.3	167.3	114.3

* 基本的1株当たり当期利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、信託として保有する当社株式を含めています。

(2) 資産等の状況

資産合計は、1兆2,393億円（前期末より1,509億円増）となりました。BMS社との戦略的提携に伴う契約一時金および研究開発償還金の受領、ならびに米メルク社からの販売マイルストーンペイメントの受領に伴い現金及び現金同等物が増加しました。また、米メルク社からの販売マイルストーンペイメントの計上により、営業債権及びその他の債権が増加しました。

負債合計は、4,678億円（前期末より1,057億円増）となりました。バイオジェン社および米メルク社に対する未払費用が増加しました。また、BMS社からの研究開発償還金を預り金として計上したことにより、その他の金融負債が増加しました。

資本合計は、7,715億円（前期末より452億円増）となりました。円安の進行に伴い在外営業活動体の換算差額が増加しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は60.4%（前期末より4.0ポイント減）となりました。

連結財政状態計算書項目

(単位：億円)

	2020年度末	構成比(%)	2021年度末	構成比(%)	増減額
資産合計	10,884	100.0	12,393	100.0	1,509
負債合計	3,621	33.3	4,678	37.7	1,057
借入金	899	8.3	949	7.7	50
資本合計	7,264	66.7	7,715	62.3	452
親会社の所有者に帰属する持分	7,016	64.5	7,488	60.4	472

(3) 設備投資の状況

当社グループは、品質の向上、製造原価の低減を目的とした製造設備の増強・合理化および研究開発力の強化のための設備投資を継続的に実施しています。

2021年度の設備投資額は275億円（前期より43億円減）であり、その主なものは、日本における生産設備および研究設備の拡充と米国子会社の新オフィスに係る設備の投資です。

(4) 資金調達状況、主要な借入先

当期末の借入金は949億円（前期より50億円増）となりました。主要な借入先は以下のとおりです。

長期借入金

(単位：億円)

会社名	相手先	2021年度末
当社	シンジケートローン	800
	株式会社埼玉りそな銀行	50
	株式会社みずほ銀行	50
	株式会社三菱UFJ銀行	50

(5) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,176億円の収入（前期より445億円の収入増）となりました。収入増の主な要因は、BMS社との戦略的提携に伴う契約一時金および研究開発償還金の受領によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、288億円の支出（前期より72億円の支出減）となりました。研究設備および製造設備の増強を進め、設備投資に係る支出が発生した一方で、「ゾネグラン」の権利の譲渡に伴い有形固定資産・無形資産の売却による収入が発生しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、490億円の支出（前期より69億円の支出減）となりました。主に配当金の支払いによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は3,096億円（前期末より609億円増）、営業活動によるキャッシュ・フローから資本的支出等を差し引いたフリー・キャッシュ・フローは887億円の収入となり、配当額を大幅に上回るキャッシュを創出しました。

連結キャッシュ・フロー計算書項目

(単位：億円)

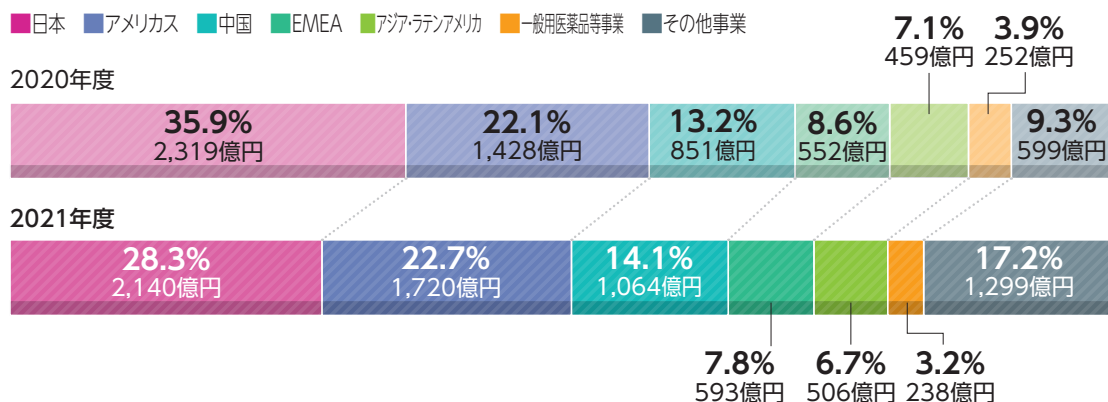
	2020年度	2021年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	731	1,176	445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△361	△288	72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559	△490	69
現金及び現金同等物の期末残高	2,487	3,096	609
フリー・キャッシュ・フロー*	364	887	523

* フリー・キャッシュ・フロー
 = (営業活動によるキャッシュ・フロー) - (資本的支出等 (キャッシュベース))

(6) セグメント情報

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等）、一般用医薬品等（日本）の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。

セグメント別売上収益



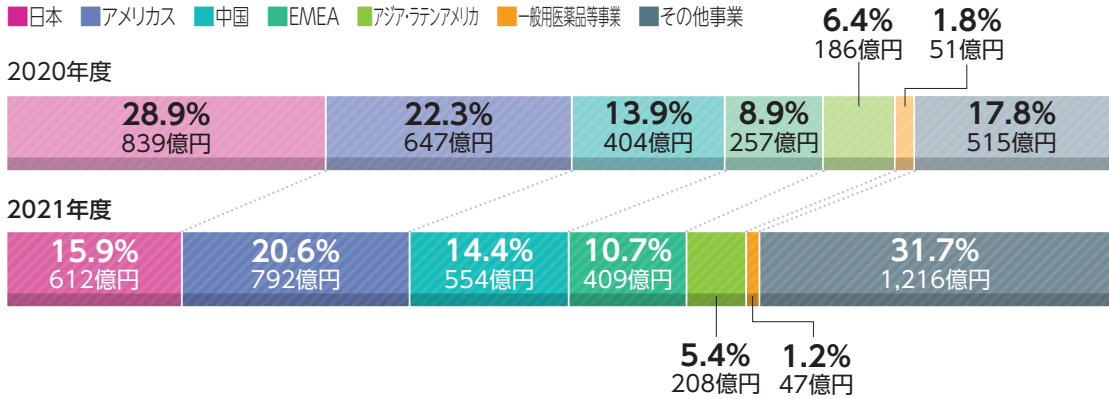
セグメント別売上収益

(単位: 億円)

	2020年度	構成比(%)	2021年度	構成比(%)	前期比(%)	増減額
医薬品事業（報告セグメント）	5,861	90.7	6,263	82.8	106.9	402
日本 医薬品事業	2,319	35.9	2,140	28.3	92.3	△179
アメリカス 医薬品事業	1,428	22.1	1,720	22.7	120.5	292
うち、米国 医薬品事業	1,409	21.8	1,695	22.4	120.3	286
中国 医薬品事業	851	13.2	1,064	14.1	125.1	213
EMEA 医薬品事業	552	8.6	593	7.8	107.4	41
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	459	7.1	506	6.7	110.3	47
一般用医薬品等事業	252	3.9	238	3.2	94.7	△13
その他事業	599	9.3	1,299	17.2	217.0	701
連結売上収益	6,459	100.0	7,562	100.0	117.1	1,103
海外売上収益比率(%)	59.2		67.8		114.5	8.6

(注) 外部顧客に対する売上収益です。

セグメント別利益



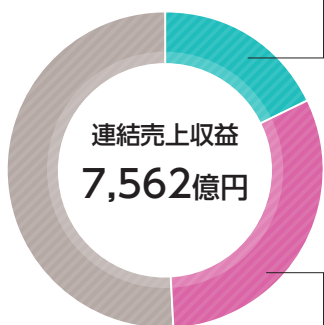
セグメント別利益

(単位：億円)

	2020年度	構成比 (%)	2021年度	構成比 (%)	前期比 (%)	増減額
医薬品事業 (報告セグメント)	2,384	82.2	2,623	68.3	110.0	240
日本 医薬品事業	839	28.9	612	15.9	73.0	△226
アメリカス 医薬品事業	647	22.3	792	20.6	122.5	145
中国 医薬品事業	404	13.9	554	14.4	137.3	150
EMEA 医薬品事業	257	8.9	409	10.7	159.3	152
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	186	6.4	208	5.4	111.6	22
一般用医薬品等事業	51	1.8	47	1.2	92.7	△4
その他事業	515	17.8	1,216	31.7	236.3	702
研究開発費	△1,503		△1,717		114.2	△214
親会社の本社管理費等	△880		△1,585		180.1	△705
連結営業利益	515		537		104.3	22

(7) 主力品の売上収益

ニューロロジー (神経) 領域
1,356億円 17.9%



オンコロジー (がん) 領域
2,385億円 31.5%

ニューロロジー (神経) 領域

2021年度 1,356億円

製品名	売上額 (億円)
フィコンパ	319
メチコパール	281
アリセプト	244
デエビゴ	164
インペロニ バンゼリン	103
ルネスタ	69
リリカ	57
その他	119

オンコロジー (がん) 領域

2021年度 2,385億円

製品名	売上額 (億円)
レンビマ/キスプリクス	1,923
ハラヴェン	394
その他	68